

この冊子はWEBサイトでもご覧いただけます。



安全・安心なペットフードを
お届けするために



発行元



一般社団法人
ペットフード協会

ペットフードの安全を守るために

少子高齢化、核家族化が進む中で、ペットは、家族の一員としてかけがえない存在になってきています。健康なペットと共生するためには、ペットフードの安全を確保していくことが重要です。

食品の安全確保を図るために食品衛生法が定められているように、犬や猫を対象としたペットフードにつきましてもペットフード安全法(愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律)が2009年に施行されました。一般社団法人ペットフード協会と関係団体においては、国内で製造、輸入販売されている、ペットフードの安全の確保に取り組まれておられるところですが、日本で製造、輸入販売されているペットフードの安全性に関して、懸念する消費者の方々もおられるようです。

この冊子が、愛犬や愛猫にとって安全なペットフードを製造・輸入販売するための取り組みについて、正しい情報を知っていただく良い機会となることを願っております。

2019年3月

農林水産省
消費・安全局 畜水産安全管理課

環境省
自然環境局 総務課 動物愛護管理室

目次

ペットフードの安全を守るために	2
日本で暮らす犬・猫の状況	3
日本で暮らす犬・猫の平均寿命	4
「ペット先進国」におけるペットの平均寿命	5
ペットフード安全法ってどんな法律?	6~7
ペットの健康維持に必要な栄養とは?	8
ペットフードは、どんな原料から作られているの?安心して使用できるの? …	9~10
ペットフードの品質を守る添加物の役割とは?	11~13
いつまでも健康でいるために~ペットフードの与え方・保存方法~	14
一般社団法人ペットフード協会について	15

日本で暮らす犬・猫の状況

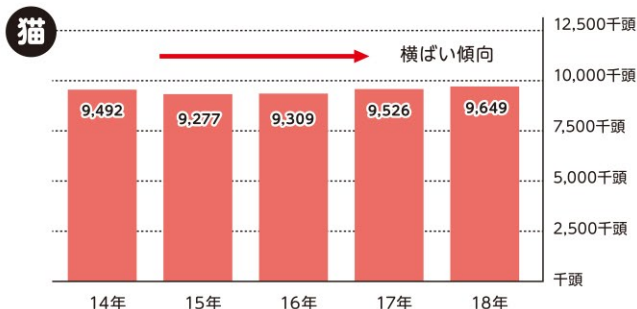
2018年10月調査時、日本では、およそ犬890万頭、猫965万頭が、人と一緒に暮らしています。

犬の飼育頭数は2008年以降減少傾向で、猫に関しては横ばい傾向にあります。

犬の飼育頭数の減少傾向は、高齢化社会の到来とともに、最後まで世話ができるかといった不安、経済的な不安、単身世帯の増加等が背景にあります。

猫に関しては散歩や世話をする手間がかからないこと等で、横ばい傾向にあります。

飼育頭数の推移



一般社団法人ペットフード協会調べ

日本で暮らす犬・猫の平均寿命

日本で暮らす犬猫の平均寿命は、2018年の調査時、犬が14.3歳、猫が15.3歳。2010年の調査では犬が13.9歳、猫が14.4歳でした。平均寿命は、2010年と比べ、伸長しています。犬の体格別では、超小型犬15.0歳／小型犬13.9歳／中・大型犬13.4歳と体格が小さい程、長寿傾向にあります。猫は、2018年の調査で飼育のされ方で平均寿命も大きく変わり、室内暮らしの猫が16.0歳、外に出る猫が13.6歳と、室内で暮らす猫が約2.4歳寿命が長くなっています。

長寿の要因

犬・猫、ペットの食事の変化

1962年ごろは、犬や猫に、人の食物を与えていました。この頃、ペットフードは、まだ一般の人々には、なじみの薄いものでした。その後、ペットフードは急速に普及し、2017年の調査では家庭で何らかのペットフードを利用している割合が、犬では91.2%、猫では91.3%となっています。

栄養学の進歩とペットフードの進歩等

一般社団法人日本ペット栄養学会^(※1)の動物栄養学の研究により、ペットの栄養学の研究も進み、飼育形態の多様化や年齢別や犬種、ペット個別の状態に対応したペットフードも開発され、今日では日常食から療法食や健康食など、多岐にわたり長寿に貢献できる食生活が可能となっています。

ペットの暮らしの環境の変化

かつて犬は、家の外で鎖でつながれ主に番犬の役割を果たしていました。今日では、コンパニオンドッグとなり家の中で家族の一員として生活する犬が増えたこと、猫は、室内で暮らす猫が増えたことで、快適でストレスの少ない暮らしとなり長寿につながっています。猫の長寿を願うのであれば出来るだけ家の中で飼育するようにしましょう。



動物医療の進歩

食事や生活環境の変化とともに、動物医療も大きな進化を遂げ続けています。予防接種や、治療が難しかった病気への対応の進化、交通事故等への救急医療の発達など、救える命も増えつつあります。また、犬猫等の動物病院数は増え続け、2017年には、全国で11,839動物病院^(※2)と充実が図られています。公益社団法人日本獣医師会^(※3)を始め、各獣医師会、研究会、各獣医大学での研究、並びに開業獣医師を含む全ての獣医師の努力によって、ペットの長寿に多大な貢献をしています。



[1]



[2]



[3]

(※1) 一般社団法人日本ペット栄養学会 <http://www.jspace.net/> [1]

(※2) 農林水産省 平成29年飼育動物診療施設の開設届出状況(診療施設数)調査

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/animal/> [2]

(※3) 公益社団法人日本獣医師会 <http://nichiju.lin.gr.jp/> [3]

「ペット先進国」におけるペットの平均寿命



日本の犬・猫の環境や平均寿命について述べましたが、ペット先進国と言われるアメリカやイギリスを見てみましょう。



ペット先進国の犬の平均寿命の比較

	イギリス(※4)	アメリカ(※5)	日本
超小型犬	～約14歳	～約17歳	約15歳
小型犬	～約13歳	～約15歳	約14歳
中型犬	～約14歳	～約13歳	約13歳
大型犬	～約13歳	～約12歳	

イギリスとアメリカの犬のデータは、犬種別の調査です。詳細は、下記のURLよりご確認ください。

ペット先進国の猫の平均寿命の比較

	イギリス(※6)	アメリカ(※7)	日本
猫	約14歳	約15歳	約15歳

※日本の犬・猫のデータは、一般社団法人ペットフード協会調べ

日本とアメリカやイギリスの犬・猫の平均寿命はほぼ同じ



大型犬が人気の欧米と、超小型・小型犬が人気の日本では住宅事情等や生活環境も違うこと、平均寿命の調査方法も異なるため、一概に平均寿命を比較することはできませんが、日本でも犬のより良い生活環境等が整備されてきたことにより、平均寿命に関して、欧米と遜色のないレベルにまで伸長してきました。



猫の平均寿命に関しても、栄養学や獣医学の研究が進んだことや、室内飼育も増えていることから、アメリカやイギリスとほぼ肩を並べています。



(※4) RSPCA [英国の世界最大の動物福祉団体で、世界最古の団体]

URL <https://www.rspca.org.uk/adviceandwelfare/pets/dogs/health/senior dogs/lifespan> [4]

(※5) American Kennel Club [設立:1884年アメリカンケネルクラブは、全純粋犬種の犬籍管理などを統括している愛犬家団体。公式の愛犬家団体としては、世界で2番目に古い。] 2016年7月14日付 webサイトの記事より

URL <https://www.akc.org/expert-advice/health/how-long-do-dogs-live/> [5]

(※6) RSPCA URL <https://www.rspca.org.uk/webContent/staticimages/HowLongDoCatsLive.jpg> [6]

(※7) Catster [アメリカのペットの猫の専門誌] 2019年1月8日付 webサイトの記事より

URL <https://www.catster.com/cat-health-care/how-long-do-cats-live-cat-health-facts> [7]



[4]



[5]



[6]



[7]

ペットフード安全法ってどんな法律？

日本が世界で初めて、犬猫用のペットフードに特化した法律を制定いたしました。

安心してお使いいただける ペットフードやおやつをお届けするために

一般社団法人ペットフード協会は、安心してお使いいただけるペットフードをお届けするために、前身のペットフード工業会の時代より、自主的に独自の規制やルールを設け、ペットフードの品質を保ち、ペットの健康を守ってきました。2007年の春、海外でペットの大規模な健康被害が発生したことを契機に、日本国内でも「ペットフードを規制する法律が必要」という声が高まり、ペットの健康被害を防ぐために、「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（通称、ペットフード安全法）」が2009年6月に施行されました。^(※8) この法律を契機に、特定の有害な成分の使用は公的に禁止され、ペットフードの成分規格と製造方法の基準等が制定されました。

ペットフード安全法ってどんな法律？

ペットフード安全法の対象

総合栄養食、一般食のほか、おやつやスナック、ガム、サプリメント、ミネラルウォーターなど犬・猫の栄養に供するものが対象です。また、ペットフード安全法では以下の項目が定められています。

- ・ペットフードの基準・規格の設定
- ・有害な物質を含むペットフードの製造等の禁止
- ・ペットフードの廃棄等の命令
- ・製造業者・輸入業者の届出
- ・帳簿の備付け
- ・報告徴収、立入検査等

ペットフード協会としても、ペットフード安全法施行に伴い、農林水産省・環境省への情報提供等の協力を行いました。

MEMO

ペットフードの安全に関する国際的な情報交換

ペットフード協会は、世界ペットフード協会連合会^(※9)に加盟し、様々な情報収集にも努めています。

(※8) ペットフード安全法のあらまし

 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/petfood_law.html [8]

(※9) 世界ペットフード協会連合会（通称GAPFA）【世界の90%のペットフードを製造・販売する12か国（含むEU諸国）のペットフード協会で構成される団体】

 <https://gapfa.org/> [9]



[8]

[9]

ペットフードの表示に関して

「ペットフード安全法」に基づき、ペットフードの名称、賞味期限、原材料名、原産国名、事業者名および住所について日本語で表示することが義務付けられています。

表示例

「ペットフード安全法」に基づく表示

- ①名称 ②賞味期限 ③原材料名
④原産国名 ⑤事業者名・住所



- ③ ■原材料名:穀類(とうもろこし、小麦)、肉類(ビーフ、チキン)、野菜類(ほうれん草、にんじん)、ミネラル類(P、Ca)、ビタミン類(A、B₂、C)、酸化防止剤(ミックストコフェロール)
- ④ ■原産国名:日本
- ⑤ ■製造者:ABCペットフード株式会社 〒100-0000 東京都千代田区〇〇町1-2-3
- 賞味期限:袋の底に年月で印字(最初の4ケタが西暦年、次の2ケタが月)

「ペットフードに関する公正競争規約」に基づく表示

- ⑥用途 ⑦内容量 ⑧与え方 ⑨成分

- ⑥ ■成犬用総合栄養食
- ⑦ ■内容量:1kg
- ⑧ ■与え方:成犬体重1kgあたり1日〇〇gを目安として、1日の給与量を2回以上に分けて与えてください。
- ⑨ ■成分:粗タンパク18%以上、粗脂肪5%以上、粗繊維5%以下、粗灰分8%以上、水分12%以下

※「ペットフードに関する公正競争規約」には、上記の「ペットフード安全法」に基づく表示の①～⑤も含まれます。

ペットフードの安全基準の設定

日本国内で販売されるペットフードは、安全を確保するために、成分規格(「農薬」「汚染物質」「添加物」「その他」)および、製造方法の基準(「有害微生物」「添加物」「原料全般」)が定められています。

成分規格や製造方法の基準に関しては、左記のURLより詳細をご確認ください。(*8)

ペットの健康維持に必要な栄養とは？

ペットの健康維持に必要な栄養について見てみます。

犬や猫も人と同じように、たんぱく質や脂質を始め、
炭水化物、ミネラル、ビタミンなどの栄養を補給しなければなりません。

犬は雑食

犬は、人間と同じ雑食性で必要
な三大栄養素のバランスは、人間
とよく似ています。特徴的な事
は、たんぱく質に関しては、人間
より約1.3倍必要としています。

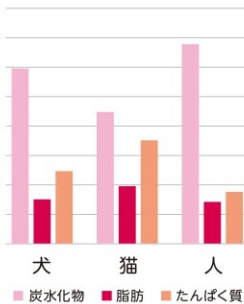


猫は肉食

猫は、肉食性のため人間と比べ
ると約2倍のたんぱく質を必要
とします。また、他に必要な栄養
として生理的に必要なタウリン
やビタミンAなどを猫は体内でつ
くることができないためこれら
を含んだフードを与える事が必
要となります。



食事で必要とされる 3大栄養素のバランス



＜出典 ペットフード協会
「ペットフード/ペットマネー検定公式テキスト」＞

塩分と糖分に関して

塩分

人用に味付けをされている食事、総菜、ハムなどを犬や猫に与えると、塩分摂取量が過剰となり、ペットの体調にもよりますが心臓や腎臓に負担をかけることとなります。チーズ等を与える場合は犬・猫用のものを与えることをおすすめします。

体重5kgの 犬猫(避妊去勢済み)の 1日の塩分摂取量の目安		塩分の多い食べ物の例 (10gあたりの食塩量)											
犬	猫	食パン	ロースハム	ウィンナー	さつま揚げ	フロセチーズ	ベーコン	かつおぶし	しらす干し	ハンペン	塩シャケ	ドッグフード (ドライタイプ)	キャットフード (ドライタイプ)
0.18g	0.33g	0.13g	0.25g	0.19g	0.17g	0.28g	0.20g	0.24g	0.54g	0.15g	0.18g	0.08g	0.10g

糖分

犬は甘みのある食べ物が大好きです。おやつなどの与えすぎに注意しましょう。
猫は、甘みを感じることはできません。猫にとって糖分は害ではありませんが、肥満などの原因となりますので極力与えないようにしましょう。

ペットフードは、どんな原料から作られているの？ 安心して使用できるの？

ペットフードの原材料の表示内容にわからないものがある
という声もありますので説明しましょう。



**「チキンミール」「ミートミール」は、
何から作られているの？**



ペットフードに使用されるミール類は、主に鶏肉や牛肉、豚肉、またはその食肉加工された後に残る部分を乾燥、加工処理された粉末状のものです。「チキンミール」、「ミートミール」はペットにとって有用なたんぱく質、ミネラル類を含んでおります。ミールの衛生面については、原材料は加圧・加熱処理されているため、殺菌され有害な細菌は存在していません。もちろん、ペットフード安全法で禁じられているような「危険な原材料」は含まれておりません。



**「穀類」は、
ペットフードに使って大丈夫？**

OK!?



穀類は、炭水化物だけでなく、たんぱく質、繊維質、ビタミン、ミネラルとさまざまな栄養が含まれている優れた栄養源です。また、穀類は供給が安定していることで、安定した品質を維持できるという点で利点の多い原材料です。穀類の“消化”に関してですが、人も犬と猫も穀類はそのままの状態では消化ができません。穀類は加熱し、消化吸収できる状態に加工することで、犬と猫も私たちも、栄養を消化吸収することが可能となります。ペットフードに使われている穀類は、粉状にした原材料を、成形、加熱・加圧することで、栄養成分の炭水化物が消化吸収されやすいように加工されています。また、他に穀類を使う理由には、ドライフードの形状を整えたり、ウェットフードにとろみをつけたりする目的もあります。特に、ドライフードの製造過程では、粒の形を保ち、砕けないようにするためにも重要な原材料です。

ペットフードに含まれる「副産物」とは？ その安全性について



「副産物」とパッケージに記載されていますが、原料は何でしょうか。私たち人が「肉」と呼んでいる正肉(しょうにく)の部分以外のすべてを、総称として「副産物」と呼んでいます。「副産物」にはタン、内臓、骨などが含まれています。

「副産物」は栄養価が高い

野生の肉食動物は、獲物の内臓も好んで食べます。これは、「副産物」に含まれる内臓には、たんぱく質だけでなくビタミンやミネラルなど、正肉(骨格筋)とは違った栄養素が多く含まれているからです。

ペットフードに使われている「副産物」の安全性は？

ペットフードの原材料として使用されている「副産物」がどのようなものか、よくわからないので、飼い主さんによっては、衛生面などに不安を感じている人もいます。ペットフードのメーカーは、ペットフード安全法に基づき衛生的に製造された副産物をペットフードの原材料に使用しています。国内製造のメーカーは動物性の原材料の受け入れ時に副産物の安全性をチェックしています。輸入製品も、日本国内の基準に合致するように製造が管理されたものを用いています。

MEMO

「ペットフード安全法」による安全確保の体制

「ペットフード安全法」は、ペットフードの安全性を確保し、犬や猫の健康を守ることで、動物愛護に寄与することを目的とした法律で、病原微生物に汚染された原材料を使用できないことや「ペットフード安全法」を守っているかを監視する事などが定められています。

その機関として、FAMIC^(※10)が、抜き打ちでペットフード製品の検査を行い結果を公表しており、万が一、安全性に問題のある商品が見つかったときには、回収や廃棄の命令が出されます。

■ 原材料の安全確保の体制

原材料を扱う施設 厳重な管理が行われ、適切に処理されたものが使用される



(※10) FAMIC [独立行政法人 農林水産消費安全技術センター] 肥料、農薬、飼料、ペットフード等の安全性に関する科学的手法による検査・分析、食品の表示等に関する検査等を実施する独立行政法人

<http://www.famic.go.jp/> [10]



[10]

ペットフードの品質を守る添加物の役割とは？

「添加物は要らない、無添加が一番いい!」と思っている人はいませんか？

添加物は、ペットフードの栄養と品質を守るために重要です。

ここでは、ペットフードの添加物について説明します。

ペットフードの添加物は大きく分けて3つの目的で使われます。

- バランスのとれた栄養を供給するための添加物
- ペットフードの品質を一定に保つための添加物
- その他の添加物

ペットフードに使用されている添加物は、食品や飼料に使用が許可されたもので、人間および動物の健康を損なわないことを確認する安全性試験が実施されているものや、過去の使用実績等から安全であるものが使用されています。

栄養バランスを整える添加物 **ビタミン・ミネラル・アミノ酸等**

ペットフードに使用される原材料は主に天然・自然のもので、季節や産地、収穫時期などにより、含まれる栄養素にばらつきが出てしまいます。そこで、総合栄養食として栄養基準を保つために、ビタミンやミネラル、アミノ酸などの各種栄養素を添加しています。



ペットフードの品質を維持する添加物 **保湿剤 プロピレングリコール**

保湿剤として、ドッグフードのセミモイストフードや半生フードの柔らかさを保つためにプロピレングリコールが使われます。これは、私たちが口にする麺類・おにぎり・餃子や春巻きなどの皮等にも使われる食品添加物です。

プロピレングリコール(保湿剤)は、通常ドッグフードで使用される濃度では犬に毒性を示さないという科学的知見に基づき、現在、ドッグフードに使用されています。

但し、猫には赤血球にダメージを与えることが確認されていますので、キャットフードでは、プロピレングリコールの使用は禁止されています。

猫には

~~プロピレングリコール~~

使用禁止



酸化防止剤

ペットフードには、必ず脂肪が含まれています。原材料に「〇〇脂肪」「〇〇油」と書かれていなくても、チキンやビーフなど、ほかの原材料に脂肪が含まれています。脂肪は、光に照らされたり空気に触れると、酸素と結合して酸化してしまいます。脂肪が酸化すると、栄養成分の劣化や変性が起き、嘔吐や下痢などの症状を起こすことがあります。また、フードの嗜好性が低下して食いつきが悪くなります。酸化防止剤とは、脂肪の酸化を防ぐ目的で加えられている添加物のことで、ペットフードの品質と安全を守るために必要な添加物です。

ペットフードの原材料表示の欄には、「酸化防止剤(ミックストコフェロール:ビタミンE類)」などと、実際の物質の名前が詳しく書かれています。酸化防止剤には、ローズマリー抽出物、緑茶抽出物などの天然由来のものや、ミックストコフェロール(ビタミンE)、クエン酸など、酸化防止の役割を果たすもののほか、BHAやBHTといった化学的に合成されたものが使われることがあります。

BHA・BHTに関して

酸化防止剤のBHA(ブチルヒドロキシアニソール)とBHT(ジブチルヒドロキシトルエン)は、私たちの食品にも使用が認可されている食品添加物です。食品添加物の使用基準では、一日の摂取許容量が法律で定められており、基準以下で使用されている限りは、健康に影響を及ぼさないことが知られています。同様にペットフード安全法でも使用の上限が定められています。^(※11)一部のインターネット等においては、BHAの発がん性についての記載がありますが、BHAの安全性は学術的に証明されています。

発がん性の根拠とされる報告は、ペットフード安全法で定められている使用の上限を遥かに超える多量のBHAを投与されたラットの前胃^(※12)で発症したものです。ドライフードに含まれるBHA量は微量であり、また、発がん性が認められたとの情報はありません。



(※11) BHA・BHTの上限使用量に関しては、以下をご参照ください。

 https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/petfood_law.html [11]

(※12) 動物の胃が二部分に分かれる場合の食道の下端にある胃の前半部の消化器官

(※13) ソルビン酸カルシウム 添加物評価報告書平成20年11月

 http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-tuuchi-calciumsorbate_k.pdf [12]



その他の添加物でお問い合わせの多い代表例

発色剤 亜硝酸ナトリウム

亜硝酸ナトリウムは、食品に添加すると安定した色素に変化した肉色をきれいに保つほか、細菌の繁殖を抑える添加物として、ハムやソーセージ、ベーコンなどの肉系加工品やイクラ、タラコ、明太子などの魚卵系の加工品に使用されることもあります。一般的に、非加熱のソーセージには細菌繁殖を抑制するために、添加されています。

また、保存料ソルビン酸と一緒に摂取すると発がん性物質が生じるリスクに関して懸念される報道もありましたが、これに関しては、既に食品安全委員会のソルビン酸カルシウムの添加物評価書においては、通常の使用状況下では健康阻害の要因に当たらないとの結論も出ています。^(※13) ペットフードでは、ウェットタイプのフードやジャーキーなどで使用されていることが多く、ペットフード安全法で使用の上限が定められています。



着色料

天然の原材料を使用するペットフードでは、収穫時期により、色がばらつくことがあり、見た目の色調を整えるために各メーカーが安全性を確認したうえで着色料を使用することがあります。日本で使用認可されているものは、魚卵系の加工食品にも使用されることがあります。

合成着色料(赤2・赤102・赤106)の使用は、人の食品添加物にも認定されていることと、使用に際しては使用量が極めて少量であることから、健康への影響はないとされています。また、過去に、着色料が原因と推測される犬・猫の健康被害の報告はありません。



いつまでも健康でいるために ～ペットフードの与え方・保存方法～

ペットフードの与え方

犬の場合



犬は目の前にある食べものをお腹いっぱいになるまで食べる習性があります。欲しがらなければ与えるのではなく、フードをきちんと計量して与えましょう。

猫の場合



猫は昼夜を問わずに少量ずつ何回も食べる習性がありますので、1日分のフードをこまめに食べられるように工夫しましょう。

食器はいつもキレイにしましょう

使い終わった食器には唾液や食べかすが残っています。毎回洗い、乾燥させて清潔に保ちましょう。



飲みものにも注意をしましょう

いつでも新鮮な水が飲めるように用意しましょう。また、犬や猫は牛乳に多く含まれる乳糖をうまく消化できないため、下痢などを起こすことがあります。ミルクは犬や猫専用のものを与えましょう。



ペットフードの適切な保存方法

ドライフード 使用期限の目安: 開封後約1か月

袋をしっかりと閉じて、直射日光が当たらない、温度・湿度が低い場所で保存しましょう。

冷蔵庫で保存すると、与えるときの出し入れの際に、フード表面に結露を生じ、カビ等の発生の原因になることがあるので常温で保存するようにしましょう。開封後は、なるべく早く使い切れるように犬や猫の大きさにあったサイズの製品を選びましょう。

ドライフードは比較的長期間保存できる利点がありますが、食器に出した後は、時間とともに香りや食感が失われます。また、犬や猫の唾液がついたまま放置すると、有害な微生物が発生する可能性があるため、食べ残しは放置せずに片付けるか、定期的に新しいものに交換しましょう。

○ CHECK!



ウェットフード 使用期限の目安: 開封後1日

開封したらすぐに与えましょう。

未開封の缶詰やレトルトフードは、直射日光が当たらない温度変化の少ない場所で保存しましょう。未開封であれば長期間保存できる利点があります。開封後に余ってしまった場合は、別の容器に移し替えて冷蔵庫で保存し、その日のうちに使い切りましょう。また、食器に出した後の酸化、腐敗、有害微生物の繁殖等の品質の変化が、ドライフードに比べて早いため、20分程度を目安に片付けましょう。

○ CHECK!



ソフトドライフード・セミモイストフード・ジャーキー類

○ CHECK!

それぞれ保存方法が異なるため、パッケージ表記をご参照ください。

一般社団法人ペットフード協会について 一般社団法人 ペットフード協会

ペットフード協会は、日本で流通するペットフードの安全性を確保するために、
会員相互の協力のもと、様々な取り組みを行っています。

活動内容

ペットフード協会【加盟社】

約90社で構成され、出荷金額ベースで
日本のペットフードのマーケットの約90%を占めます。

ペットフードの安全性の確保

技術委員会、安全性部会を組織し、ペットフードの安全性確保に努めております。
ペットフード安全法の法制化にも協力いたしました。

ペットフードの普及、啓発

「動物愛護週間・中央行事」「ペットとの共生推進シンポジウム」などの
催事に参画しました。

ペットフード/ペットマナー検定

一般の飼い主の皆様へペットフードに関する基礎知識を習得していただき
ペットと暮らすご家族に必要な知識とマナーの向上を図ります。

各種資格認定制度

販売や相談に携わる方向けに「ペットフード販売士」、
輸入・製造を行う事業者の方向けに「ペットフード安全管理者」の資格認定制度を実施し、
安心・安全なペットフードを提供できる人材の育成に努めています。

緊急災害時における支援活動

被災動物救済のため、一般社団法人ペット災害対策推進協会の一員として
ペットフードの提供等を通じて支援活動に協力しています。

調査活動

犬・猫等の飼育頭数、飼育に関する意識調査、
ペット飼育に関する実態調査の実施をしています。

ペットの国際展示会の主催

インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～
を主催しています。

活動内容は
こちらから見れます!



発行日：2019年3月

参考資料

一般社団法人ペットフード協会調べ
2018年 全国犬猫飼育実態調査より

3P~4P



環境省「知って納得ペットフードの表示」

6P~7P 11P~13P



環境省「飼い主のためのペットフードガイドライン」

8P 14P~15P



協力：農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課
環境省 自然環境局 総務課 動物愛護管理室
一般社団法人 日本ペット栄養学会
一般社団法人 ペットフード協会 徳本一義(獣医師)
新資格検定制度実行委員会委員長